

# 但馬の経済指標

令和6年10月～12月

兵庫県但馬県民局

## 【但馬の経済概況】

<ポイント>

①但馬信用金庫の但馬管内景気動向調査によると、業況判断DIは、前期より9.3ポイント増加し、4.1となった。

②有効求人倍率は、12月期1.62倍。前年同月と比べて0.07ポイント減少した。

		項 目	今期(10月～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
1	業況判断DI (全業種計)	但馬信用金庫	+ 4.1	+ 9.3	△ 1.9
2	雇用		12月	対前月(増減)	対前年同月(増減)
		有効求人倍率	1.62	+ 0.07	△ 0.07
			12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		有効求人数(人)	4,096	△ 0.41	△ 5.43
		有効求職者数(人)	2,523	△ 4.68	△ 1.52
		雇用保険受給者実人員(人)	444	0.00	+ 7.25
3	金融		12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		普通貸付残高(百万円)	11,756	+ 0.05	△ 7.30
			12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		信用保証承諾額(百万円)	975	+ 18.18	△ 27.02
		信用保証債務残高(百万円)	53,624	△ 0.51	△ 8.12
4	公共工事		12月	前月比(%)	前年同月比(%)
		公共工事請負金額(百万円)	556	△ 69.01	△ 68.25
参考	企業倒産(全県)		今期(10～12月)	対前期(増減)	対前年同期(増減)
		件数	143	+ 18	△ 15
		負債総額(百万円)	11,659	△ 4,299	+ 516
5	地場産業	豊岡かばん		売上高、生産量、収益とも 変わらず。	売上高、生産量、収益とも 変わらず。

# 1 業況判断

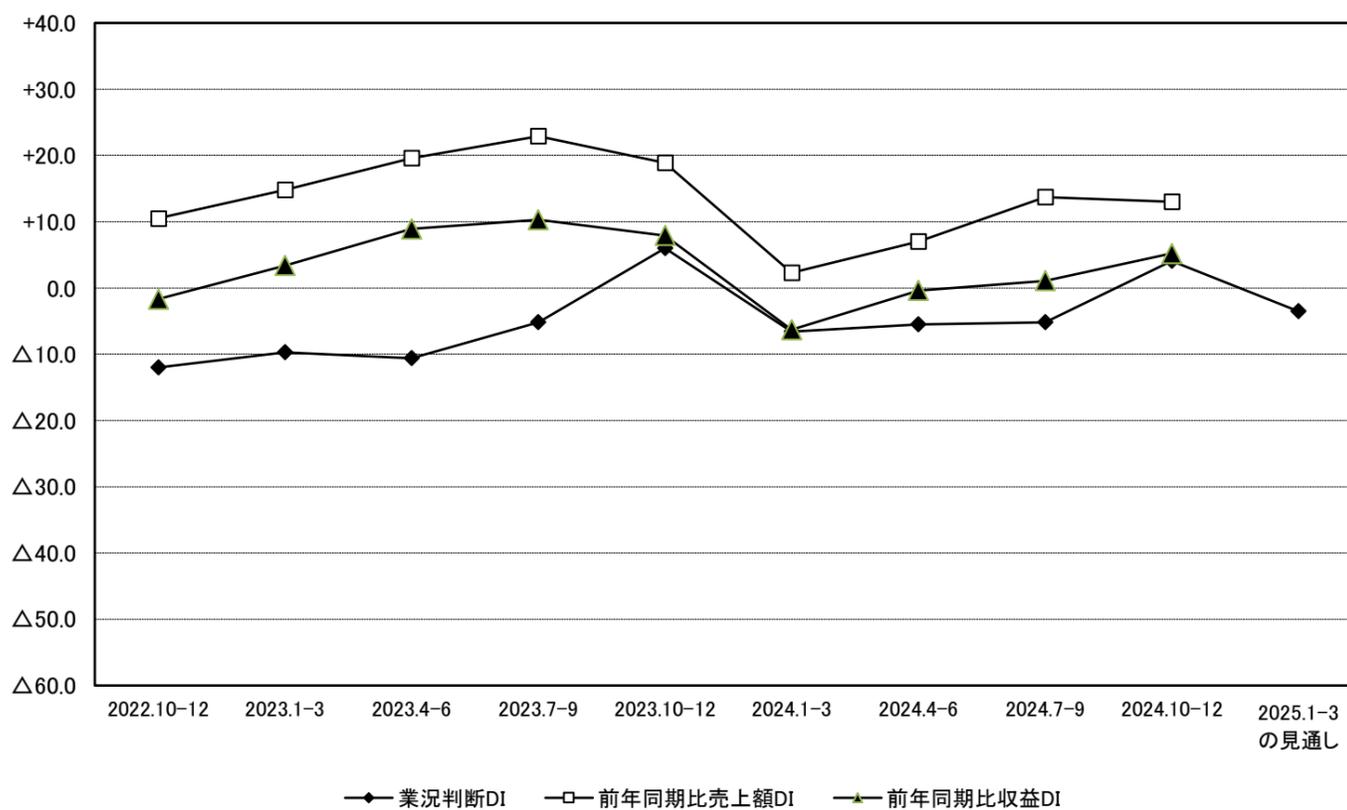
但馬信用金庫

今期の業況判断DIは、前期より9.3ポイント増加し、4.1となった。

来期の見通しについては、業況判断DIが-3.5となる見通しである。

前年同期と比較した売上額DIは13.0、同収益DIは5.2となった。

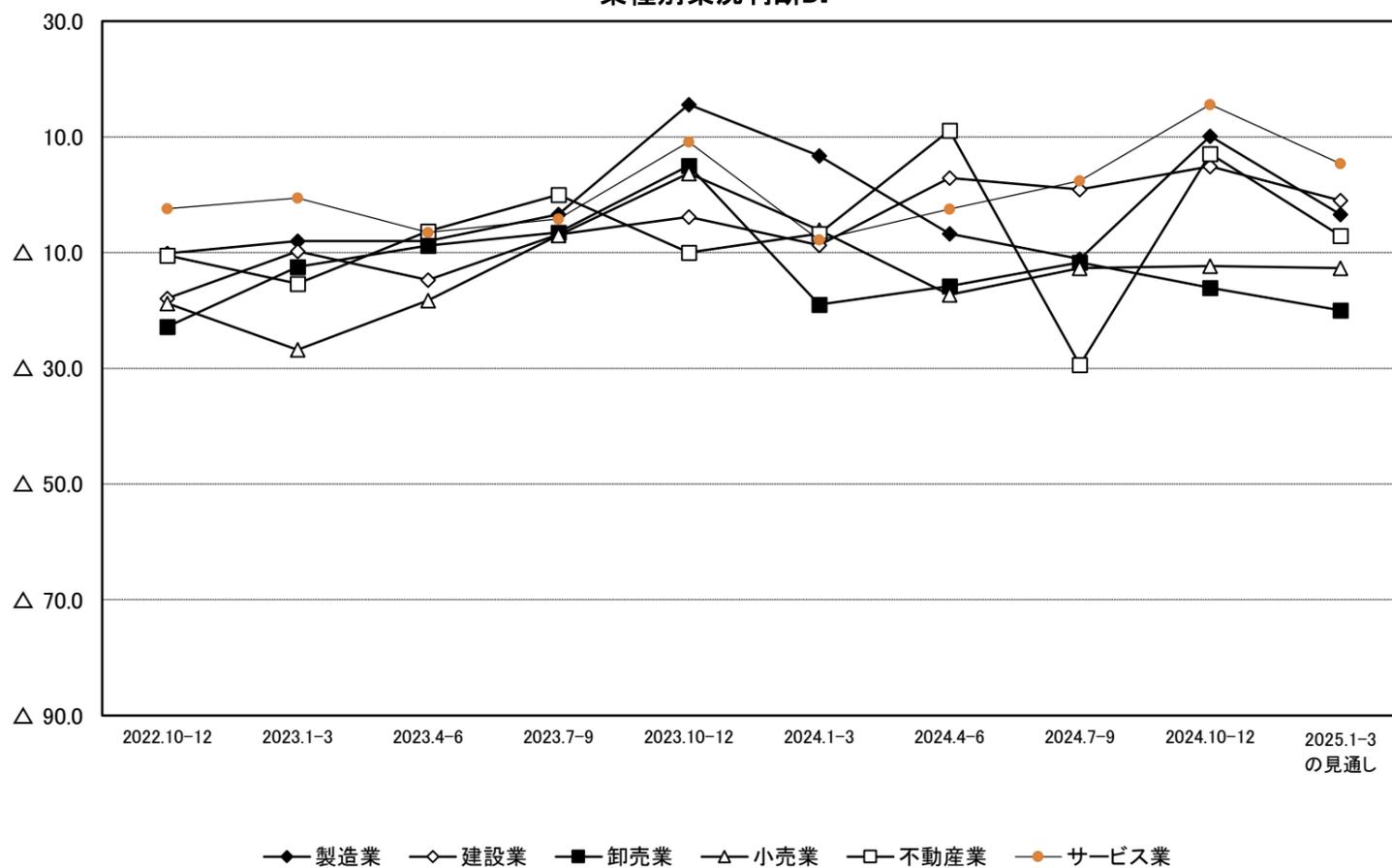
業況判断DIの推移



	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 の見通し
業況判断DI	△12.0	△9.7	△10.6	△5.2	+6.0	△6.6	△5.5	△5.2	+4.1	△3.5
前年同期比売上額DI	+10.5	+14.8	+19.6	+22.9	+18.9	+2.3	+7.0	+13.7	+13.0	-
前年同期比収益DI	△1.7	+3.4	+8.9	+10.3	+7.9	△6.3	△0.4	+1.1	+5.2	-

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

業種別業況判断DI

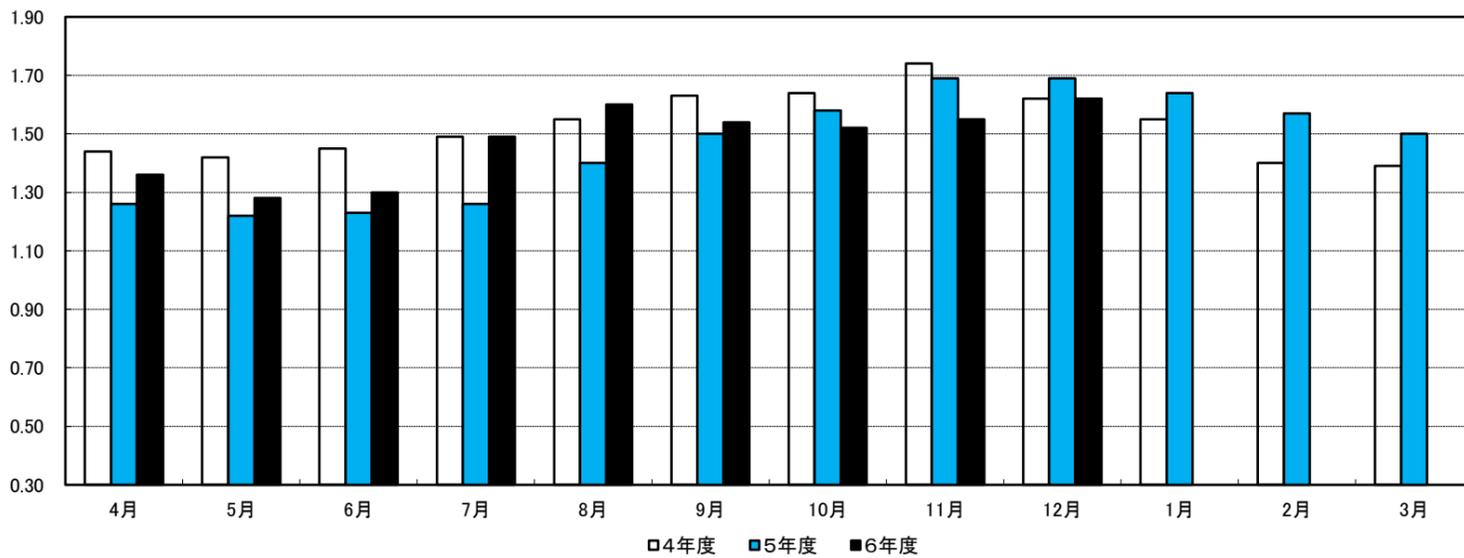


	2022.10-12	2023.1-3	2023.4-6	2023.7-9	2023.10-12	2024.1-3	2024.4-6	2024.7-9	2024.10-12	2025.1-3 の見通し
製造業	△ 10.1	△ 8.0	△ 8.0	△ 3.4	15.6	6.7	△ 6.7	△ 11.1	10.1	△ 3.4
建設業	△ 17.9	△ 9.8	△ 14.7	△ 6.9	△ 3.8	△ 8.7	2.9	0.9	4.9	△ 1.0
卸売業	△ 22.8	△ 12.5	△ 8.8	△ 6.5	5.0	△ 19.0	△ 15.8	△ 11.7	△ 16.1	△ 20.0
小売業	△ 18.8	△ 26.8	△ 18.3	△ 7.0	3.7	△ 6.1	△ 17.3	△ 12.7	△ 12.3	△ 12.7
不動産業	△ 10.5	△ 15.4	△ 6.3	0.0	△ 10.0	△ 6.7	11.1	△ 29.4	7.1	△ 7.1
サービス業	△ 2.4	△ 0.6	△ 6.5	△ 4.2	9.1	△ 7.8	△ 2.5	2.4	15.6	5.4

出典:但馬信用金庫『但馬管内景気動向調査』

## 2 雇用

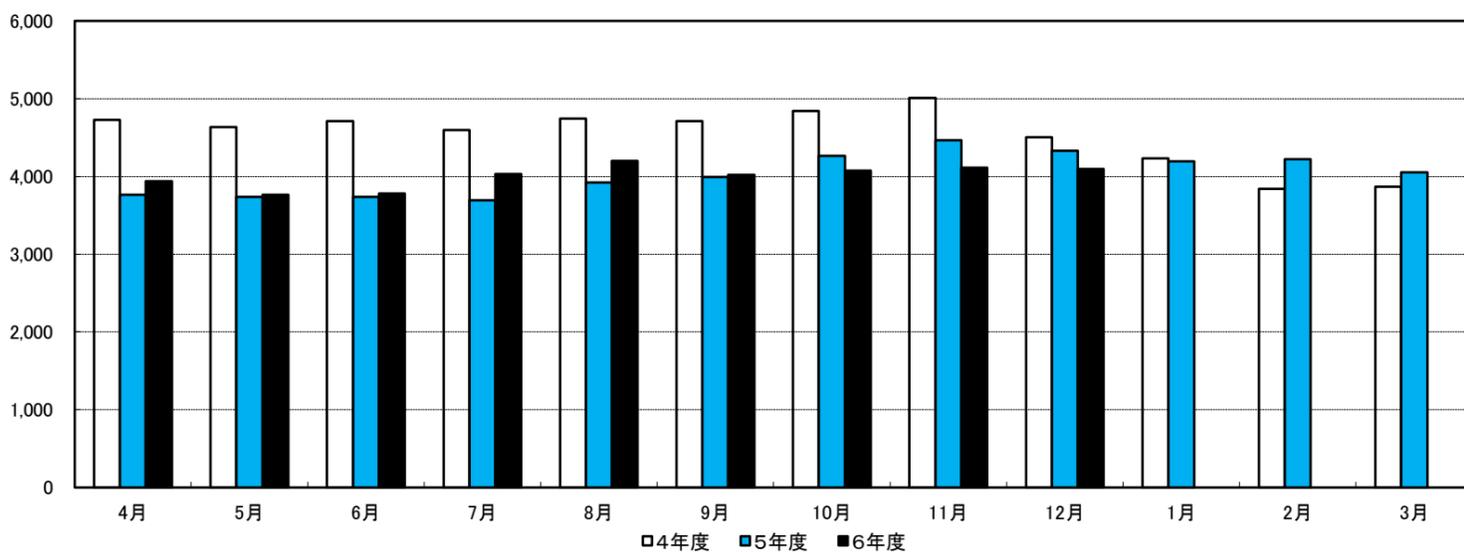
有効求人倍率



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	1.44	1.42	1.45	1.49	1.55	1.63	1.64	1.74	1.62	1.55	1.40	1.39	1.53
5年度	1.26	1.22	1.23	1.26	1.40	1.50	1.58	1.69	1.69	1.64	1.57	1.50	1.46
6年度	1.36	1.28	1.30	1.49	1.60	1.54	1.52	1.55	1.62				1.47
対前月 (増減)	-0.14	△0.08	+0.02	+0.19	+0.11	△0.06	△0.02	+0.03	+0.07				—
対前年 (増減)	+0.10	+0.06	+0.07	+0.23	+0.20	+0.04	△0.06	△0.14	△0.07				—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

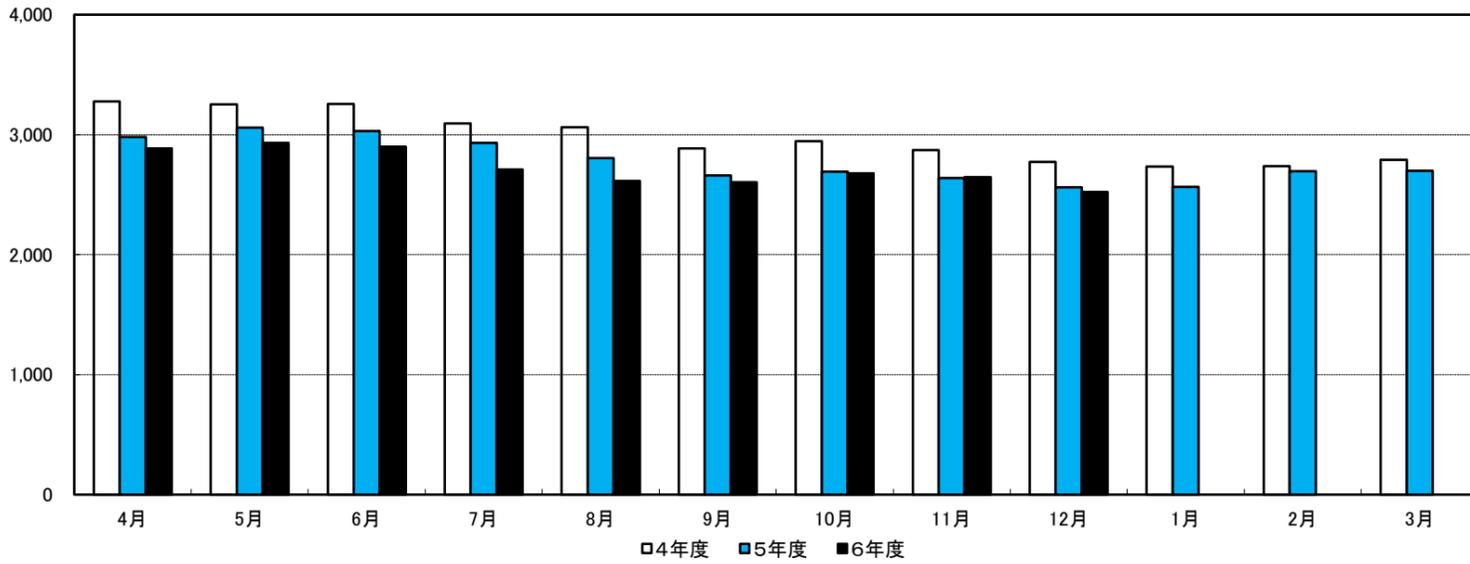
有効求人数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	4,728	4,634	4,710	4,596	4,744	4,713	4,844	5,008	4,507	4,234	3,838	3,866	4,535
5年度	3,763	3,740	3,739	3,693	3,924	3,992	4,265	4,465	4,331	4,193	4,223	4,053	4,032
6年度	3,939	3,765	3,779	4,030	4,197	4,019	4,073	4,113	4,096				4,001
前月比 (%)	△2.81	△4.42	+0.37	+6.64	+4.14	△4.24	+1.34	+0.98	△0.41				—
前年同月 比(%)	+4.68	+0.67	+1.07	+9.13	+6.96	+0.68	△4.50	△7.88	△5.43				—

出典：厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

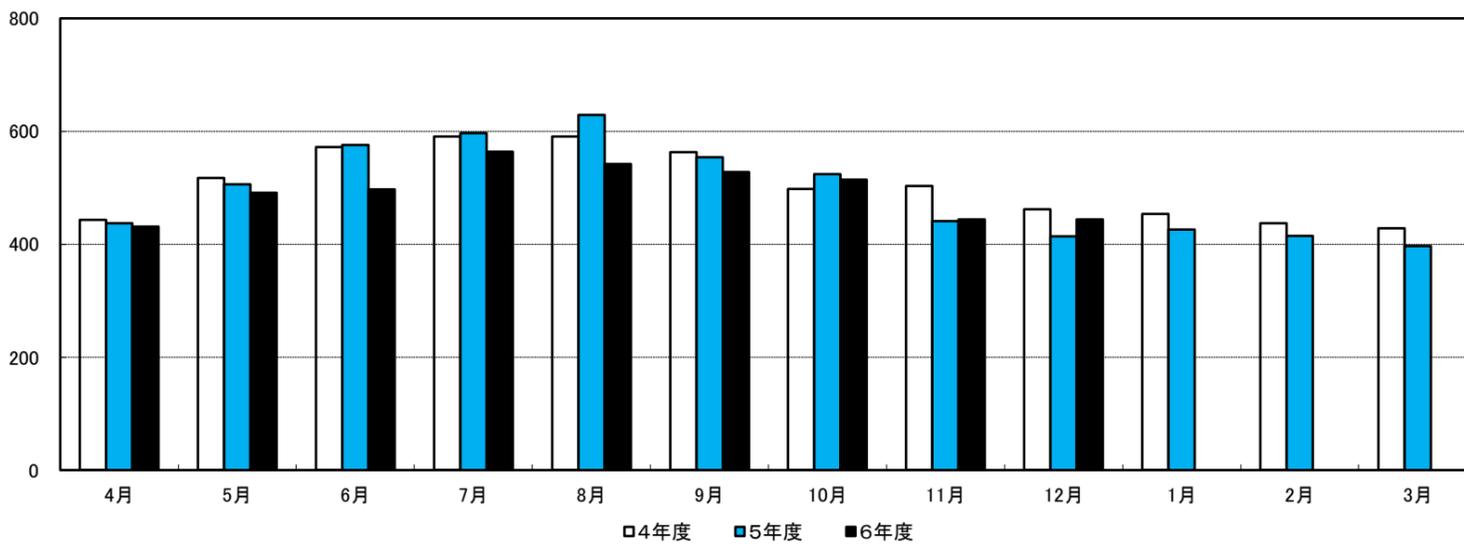
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	3,277	3,252	3,256	3,093	3,061	2,886	2,946	2,870	2,774	2,735	2,737	2,791	2,973
5年度	2,981	3,058	3,030	2,930	2,804	2,659	2,691	2,640	2,562	2,564	2,695	2,700	2,776
6年度	2,887	2,931	2,900	2,708	2,615	2,604	2,677	2,647	2,523				2,721
前月比(%)	+6.93	+1.52	△1.06	△6.62	△3.43	△0.42	+2.80	△1.12	△4.68				—
前年同月比(%)	△3.15	△4.15	△4.29	△7.58	△6.74	△2.07	△0.52	+0.27	△1.52				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)

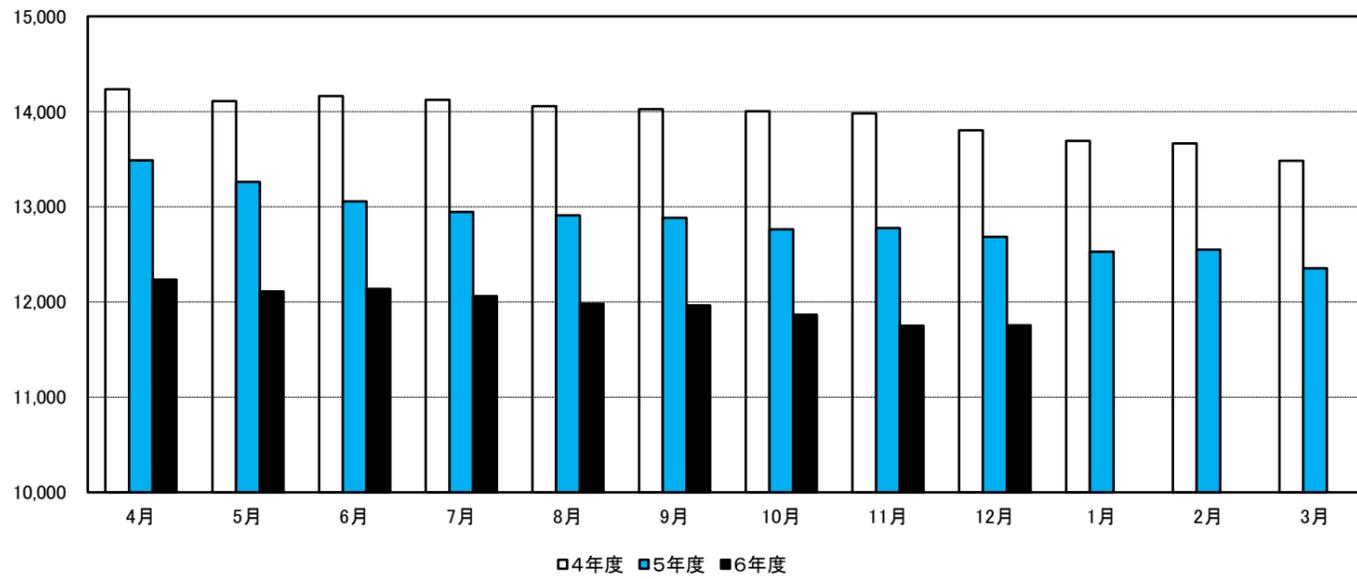


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	443	517	572	591	591	563	498	503	462	454	437	428	505
5年度	437	506	576	597	629	554	524	441	414	426	415	397	493
6年度	431	491	497	564	542	528	514	444	444				495
前月比(%)	+8.56	+13.92	+1.22	+13.48	△3.90	△2.58	△2.65	△13.62	0.00				—
前年同月比(%)	△1.37	△2.96	△13.72	△5.53	△13.83	△4.69	△1.91	+0.68	+7.25				—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

### 3 金融

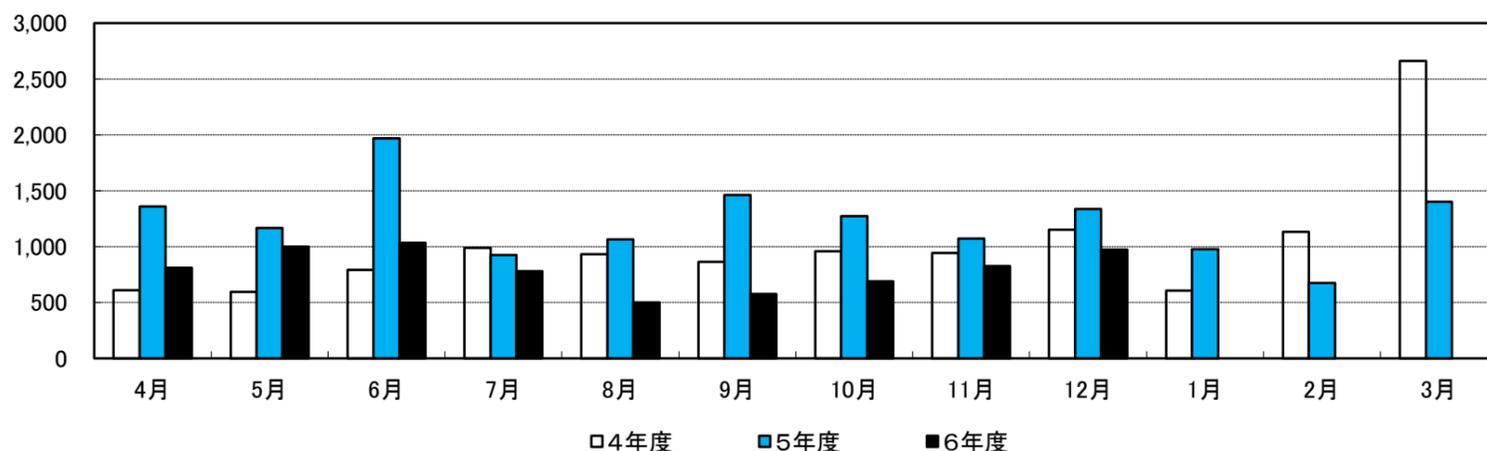
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	14,232	14,108	14,161	14,121	14,055	14,027	14,004	13,981	13,803	13,692	13,665	13,483	13,944
5年度	13,489	13,261	13,057	12,947	12,911	12,884	12,761	12,776	12,682	12,528	12,550	12,352	12,850
6年度	12,234	12,110	12,136	12,060	11,982	11,963	11,867	11,750	11,756				11,984
前月比 (%)	△0.96	△1.01	+0.21	△0.63	△0.65	△0.16	△0.80	△0.99	+0.05				—
前年同月 比(%)	△9.30	△8.68	△7.05	△6.85	△7.20	△7.15	△7.01	△8.03	△7.30				—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

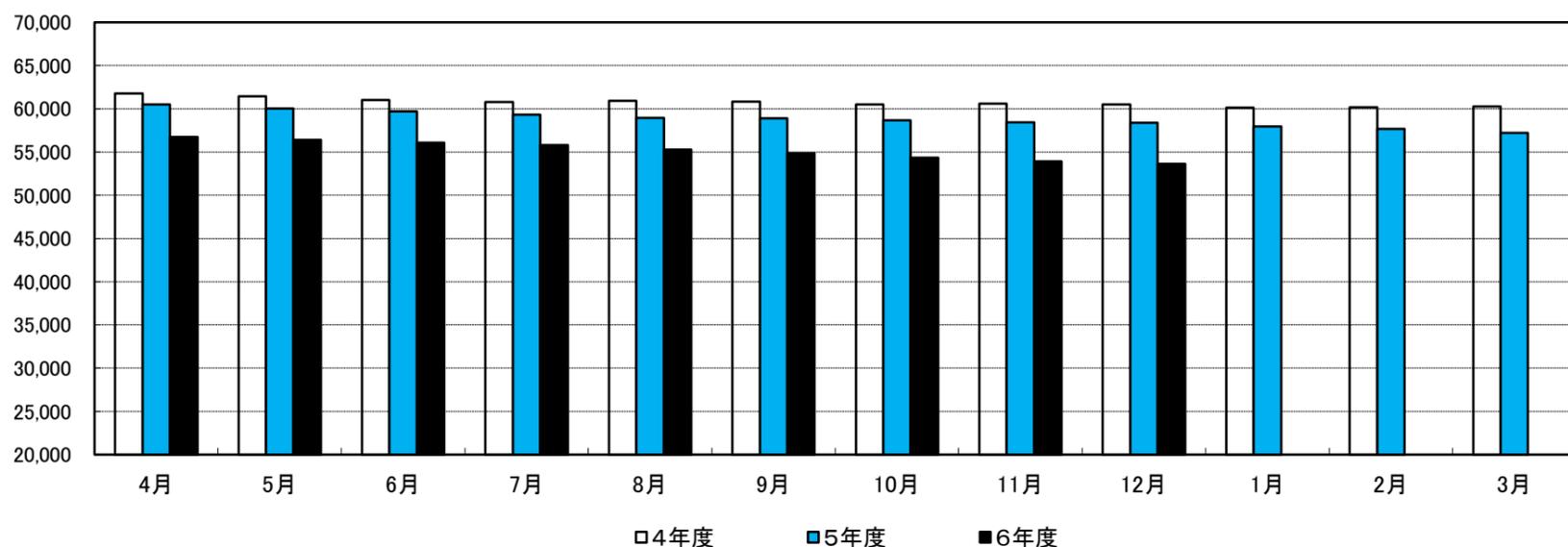
### 信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	609	595	792	988	930	865	960	945	1,150	606	1,131	2,660	1,019
5年度	1,361	1,166	1,968	926	1,065	1,462	1,273	1,070	1,336	979	675	1,403	1,224
6年度	810	998	1,033	780	501	576	690	825	975				799
前月比(%)	△42.27	23.21	+3.51	△24.49	△35.77	+14.97	+19.79	+19.57	+18.18				—
前年同月比(%)	△40.48	△14.41	△47.51	△15.77	△52.96	△60.6	△45.8	△22.9	△27.02				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

### 信用保証債務残高(百万円)

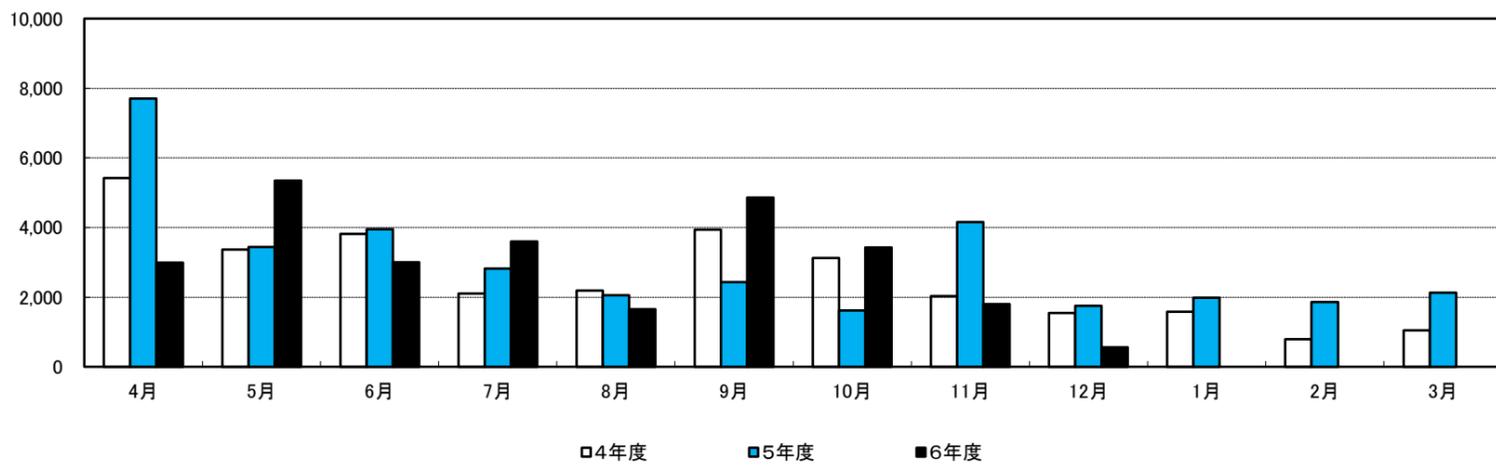


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	61,778	61,432	61,006	60,784	60,928	60,810	60,512	60,591	60,510	60,108	60,175	60,279	60,743
5年度	60,486	60,043	59,702	59,339	58,933	58,912	58,651	58,420	58,365	57,976	57,659	57,190	58,806
6年度	56,758	56,401	56,055	55,783	55,257	54,875	54,341	53,897	53,624				55,221
前月比(%)	△ 0.76	△0.63	△0.61	△0.49	△0.94	△0.69	△0.97	△0.82	△0.51				—
前年同月比(%)	△ 6.16	△6.07	△ 6.11	△ 5.99	△ 6.24	△ 6.85	△ 7.35	△ 7.74	△ 8.12				—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

## 4 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

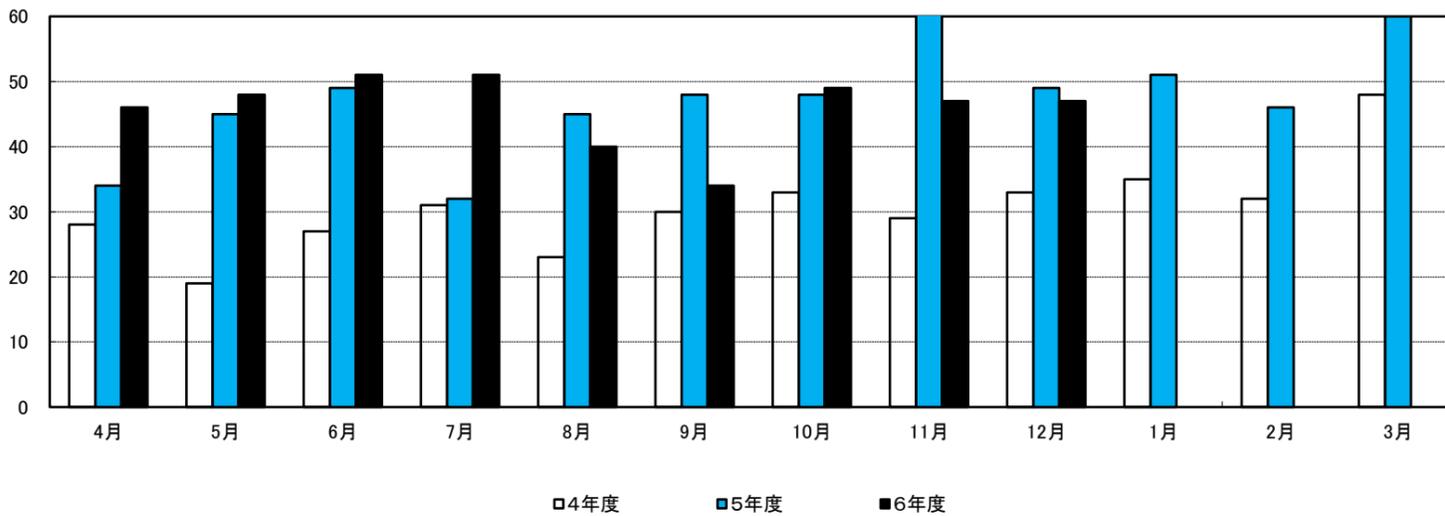


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
4年度	5,418	3,371	3,812	2,107	2,185	3,933	3,120	2,029	1,547	1,576	793	1,052	2,579
5年度	7,702	3,442	3,954	2,824	2,058	2,429	1,619	4,152	1,751	1,978	1,866	2,123	2,992
6年度	2,995	5,343	3,007	3,592	1,656	4,862	3,430	1,794	556				3,026
前月比(%)	+41.07	+78.40	△43.72	+19.45	△53.90	+193.60	△29.45	△47.70	△69.01				—
前年同月比(%)	△61.11	+55.23	△23.95	+27.2	△19.53	+100.16	+111.86	△56.79	△68.25				—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

【参考】 企業倒産(全県)

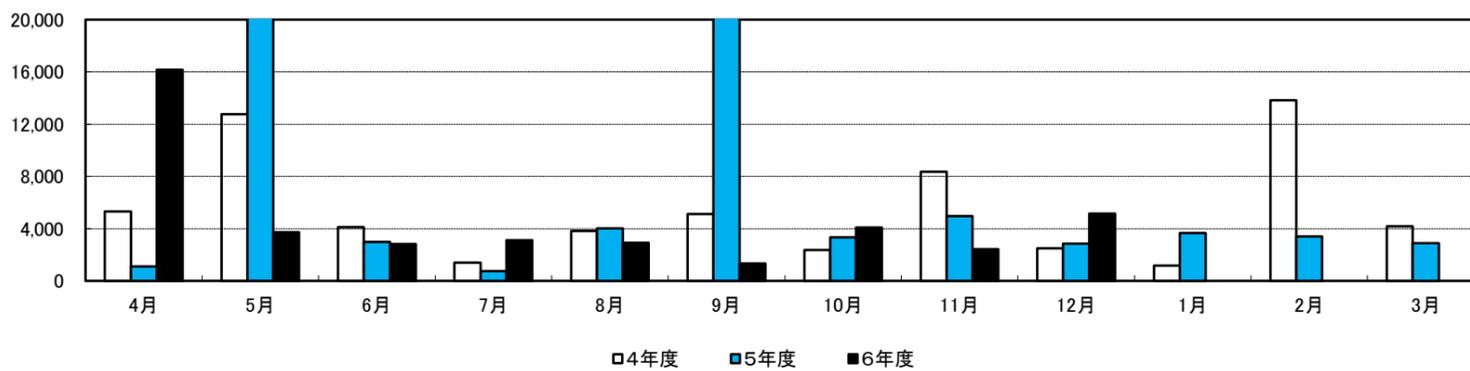
企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	28	19	27	31	23	30	33	29	33	35	32	48	368
5年度	34	45	49	32	45	48	48	61	49	51	46	60	568
6年度	46	48	51	51	40	34	49	47	47				413

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

企業倒産負債総額(百万円)

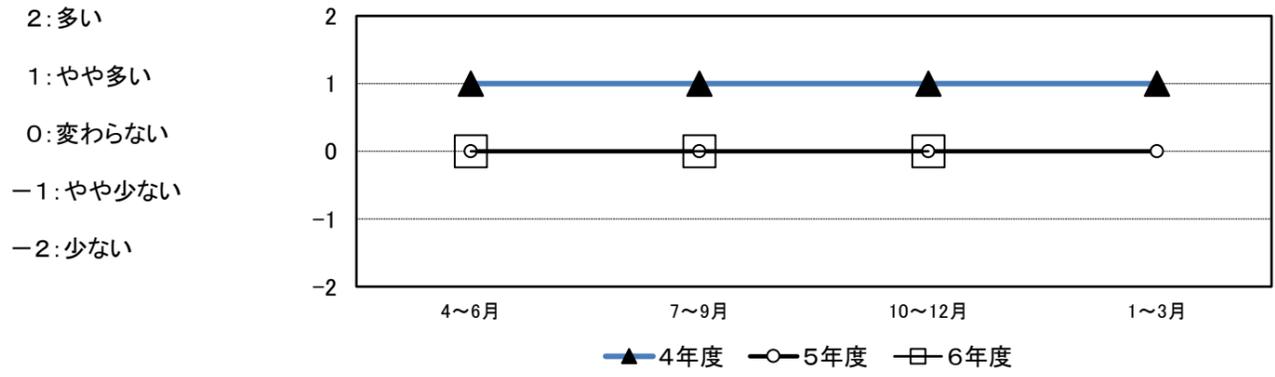


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年度	5,314	12,765	4,121	1,394	3,815	5,130	2,372	8,351	2,506	1,166	13,817	4,179	64,930
5年度	1,118	63,967	2,976	765	4,020	586,902	3,325	4,949	2,869	3,658	3,412	2,878	680,839
6年度	16,168	3,731	2,823	3,128	2,906	1,326	4,073	2,431	5,155				41,741

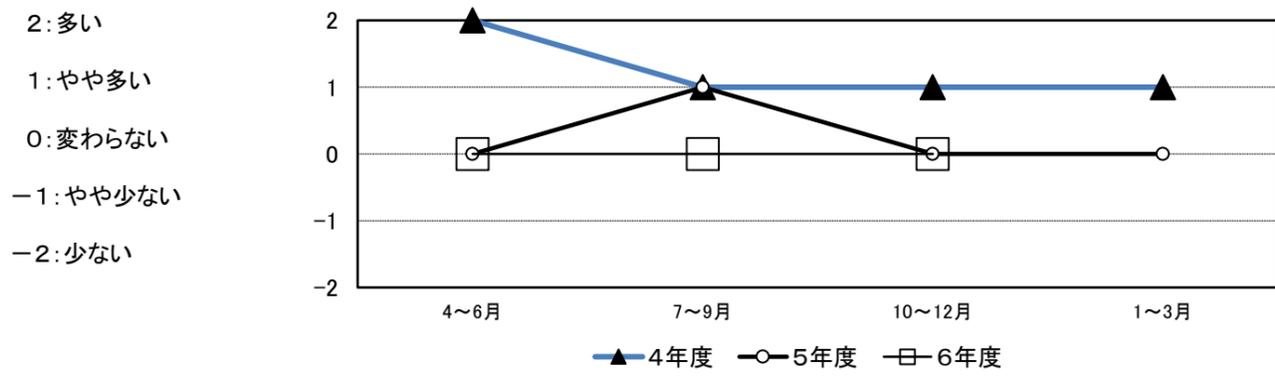
出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

## 5 地場産業(豊岡かばん)

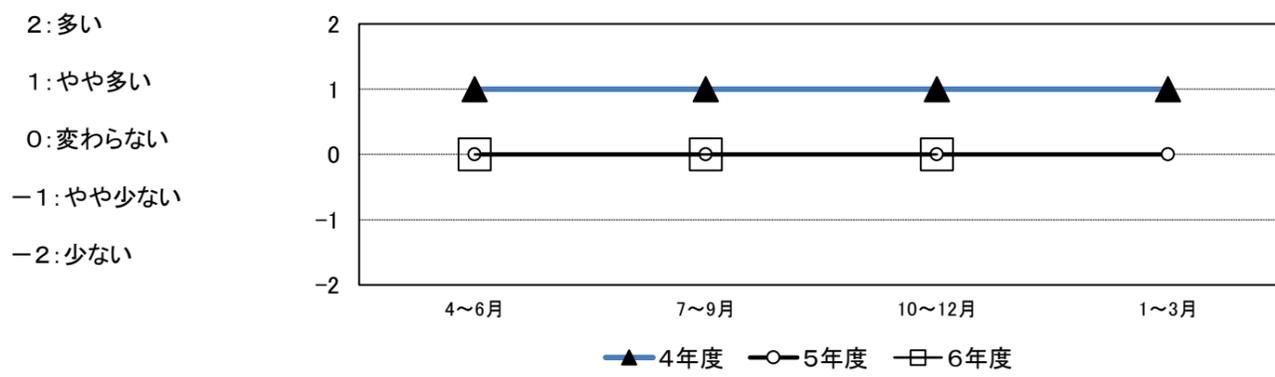
豊岡かばん 売上高 (前期比)



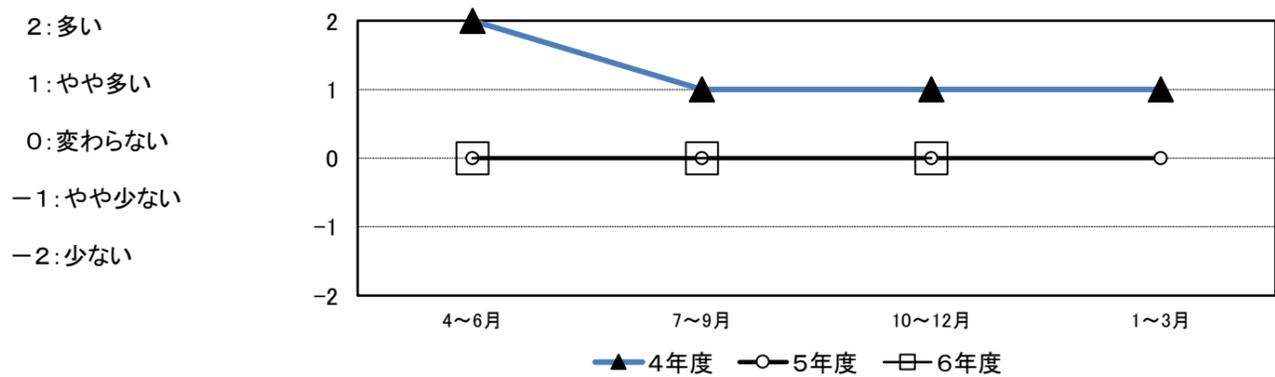
豊岡かばん 売上高 (前年同期比)



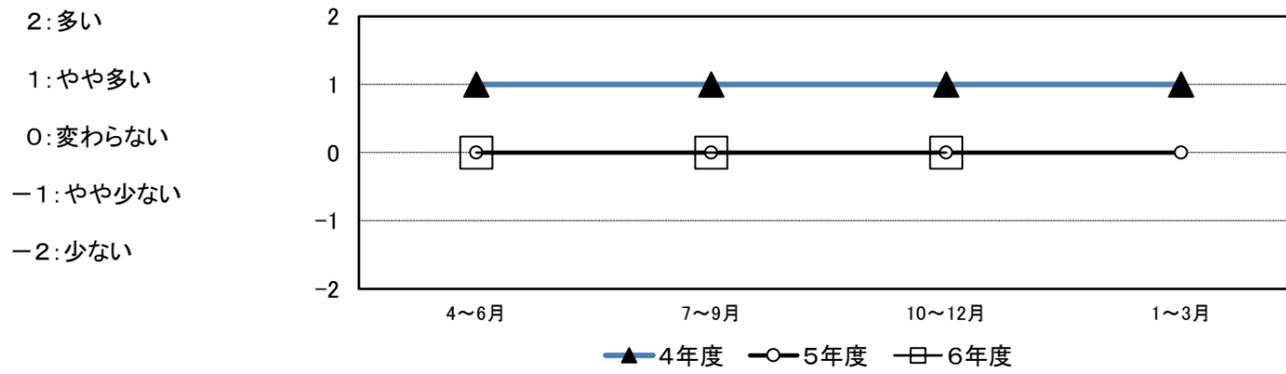
豊岡かばん 生産量 (前期比)



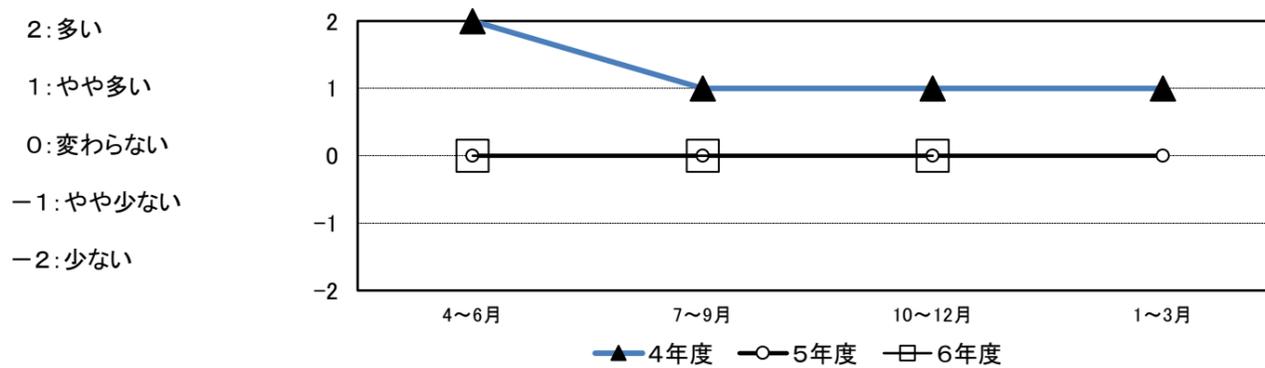
豊岡かばん 生産量 (前年同期比)



豊岡かばん 収益（前期比）



豊岡かばん 収益（前年同期比）



前期(令和6年7~9月)と比べて売上高、生産量、収益とも変わらず。

前年同期(令和5年10~12月)との比較でも、売上高、生産量、収益とも変わらず。

引き続き、OEMの受注では、非常に好調なところとそうでないところの二極化傾向にある。消費購買力の低下で、全体的には、やや不調傾向が続いている。受注生産の好調なところでは、相変わらず人手不足に追われており、受注調整などを行いながら仕事量を安定させている企業もある。また、自社ブランドや「豊岡鞆」の製品を扱っていないOEMのみの企業は、受注が減ったままのところもある。新店舗の大阪のKITTE専門店をはじめ、全国で5社増え、12月、1月のふるさと納税の返礼品としての「豊岡鞆」は、安定し好調である。

台湾での「豊岡鞆」進出を進め2年目ではあるが、販売量が思うように伸びない。販売店舗では、新たな商品を望んでいるが、新商品開発までなかなか手が回らない状況である。

「豊岡鞆」直営店は、インバウンド客の影響により、東京のKITTE直営店が伸びている。大阪空港の直営店は順調で、KITTE大阪店は、開店当時の勢いはない。知名度高い関西での販売は概ね良好である。公式HP、インスタグラムのテコ入れで、「豊岡鞆」の知名度向上も若干アップしているが、豊岡鞆のネット販売は、昨年度に比べやや減少傾向である。

豊岡鞆協会 回答

## 6 主要業種の概況

靴卸売業	<p>景況感はさほど良くない。今夏に商品の価格改定を行っており、原材料価格の上昇を受けて減少していた利益が回復する見込みだったが、物価高を受けた買い控えにより、売上個数が減少。利益の回復の見込みは薄い状況にある。為替の影響を受けて、商品原材料、梱包資材など全てのものに依然としてマイナスの影響が出ている状態である。4月の春闘の結果を受けて、7月に賃金の引き上げを実施し、基本給を7%引き上げた。</p>
宿泊業	<p>前四半期との比較で売上高、利益共に増加しており、景況感は良い。昨年度同期比についても原材料価格の上昇を受けて価格転嫁を実施したため、売上高が増加し、利益は変化無し。インバウンド客数が漸増しているが、国内旅行者が依然として客層のメインを占める。募集型企画旅行のツアー団体が増加しているが、企業の団体旅行や、バスツアーの戻りは悪い状況にある。客室係、清掃係の人員に不足が生じているため、サービスの精査を行うことで、業務の効率化を目指す。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年10月)」より

食料品製造業	<p>景況感はさほど良くない。長引く原材料価格の上昇に対応するべく、昨年度から今年度にかけてほぼ全ての商品の価格改定を実施したことで、原価率が回復し、前年同期、前期と比較し利益が増加した。しかし、販売個数は伸びず売上高に変化は無い。原材料の調達に関して、気候変動の影響で一部の調達が難しい状況になっているが、出荷には影響は出ていない。雇用について人員は充当している。職員のスキルアップのため、業務時間内外で研修や個人学習の支援に力を入れている。</p>
娯楽業・宿泊業	<p>価格改定により前期、前年同期との比較で、売上は上がっているものの、設備投資のため、合計の利益はわずかに減少している。また、メイン客層である国内旅行者の消費が鈍く、海外旅行者数も多くはない状況。為替等の影響により食材、輸送費、光熱費等様々なものにマイナスの影響が出ている。適宜、価格改定を実施しているが、追いついていない。全体的に人員が不足している。特に清掃係は清掃サービスを外注するほど大きな不足が発生している。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年11月)」より

繊維工業	<p>景況感は悪い。製品の値上げを実施したことで、売上数量が減少したものの客単価は上昇している。しかし、原材料価格の上昇により最終的な利益が減少している。原材料、梱包資材等全てで原材料価格が上昇しており、特に原糸や染料などの薬品は海外からの輸入品のため、為替によりマイナスの影響を大きく受けている。EC 販売における売上数量は増加しているが、売上数量全体では店頭販売分が依然として大半を占めている。</p>
電気機械器具製造業	<p>景況感は悪い。生産量が大幅に減少しており、売上高・利益ともに低い状態が継続している。原材料価格やエネルギー価格の高騰により、業況へのマイナスの影響は続いているものの、価格転嫁により吸収することができている。ベテランによる OJT など、従業員の多技能化に取り組んでいる。各人が作業できる範囲を広げることで、勤務態勢の見直しを行い、残業時間の減少を目指している。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和6年12月)」より